

特集 夏休みに町の特産品を知ろう！

松前が誇る はだか麦

Naked barley

5月一。辺り一面が黄金色に輝くはだか麦畑。
皆さんも、町内の至るところで目にしたことがあるでしょう。
そんな町の特産品「はだか麦」を食べたことがありますか。
「町の特産品だということは知っているけれど、食べたことはない」
という人もいるかもしれません。
8月はちょうど夏休み。
この機会に、家族みんなで町の特産品「はだか麦」を知って、食べてみませんか。

32年連続生産量日本一

愛媛県は、はだか麦の生産が盛んです。平成30年度は県内で4910トンを生産し、32年連続で生産量日本一を誇っています。そんな愛媛県のはだか麦三大産地の一つが、松前町です。

愛媛県の市町別収穫量を見てみると、松前町は西条市に次ぐ2位となっています（左下の表）。西条市の総面積は松前町の約25倍ですが、それぞれの作付面積と収穫量を比べてみると、1ヘクタール当たりの収穫量は同じ2.9トンです。また、松前町全体の面積に占めるはだか麦畑の割合は約12パーセントにも上り、収穫量・作付面積の両面から、はだか麦はまさに町の特産品であるといえます。

栄養満点のはだか麦

はだか麦は、白米の10倍以上の食物繊維を含み、β-グルカンが豊富です。β-グルカンが多いと、糖質や脂質の吸収が抑えられ、満腹感を得やすくなるとともに、腸の運動も活発になります。皆さんも、はだか麦を食べて健康になりましょう。

愛媛県内市町別はだか麦収穫量 平成30年産

順位	市町	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	1ha 当たりの収穫量 (t)
1	西条市	2,720	933	2.9
2	松前町	725	250	2.9
3	東温市	499	267	1.9

1ha 当たりの
収穫量は同じ！

※ 1ha 当たりの収穫量は小数点第2位以下を四捨五入
出典：農林水産省「平成30年産作物統計調査」

市町面積に占める
はだか麦畑の割合



Interview



はだか麦農家
大川 泰範 さん夫婦 =北川原=

もともと実家が米農家で、稲作に使う機械を共有して二毛作ができることから、父の代ではだか麦の作付を始めました。

私は就農して20年くらいになります。はだか麦は水に弱く、11～12月の播種期に大雨が降ると発芽が止まったり成長しなかったりするので、等間隔に溝を作って排水したり、複数の作業工程を一括でできる機械を導入したりするなど工夫しています。

皆さんの家庭では、麦みそや押し麦をご飯と一緒に炊いた麦ご飯などで、はだか麦を楽しんでほしいです。

今後も、仲間たちと工夫しながら少しでも多くのはだか麦を管理し、生産量日本一の地域の農業を守っていきたいです。